

長久手市タウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年8月2日(土) 午前10時30分～
- 2 開催場所 市役所西庁舎3階 研修室
- 3 参加者 26名
- 4 内容 市長あいさつ(市政報告)、市民の皆さんと市長のフリートーク
- 5 主な意見(要点筆記)

(配膳室のクーラー設置)

- Q. 中学校の給食配膳室のクーラー設置は1部屋のみで、他の部屋はクーラーがありません。食材の安全と職員の熱中症防止の観点から、クーラーを設置してほしいです。
- A. 財政的な問題と教育委員会の意向を踏まえ、検討していきます。

(東小学校送迎車の渋滞、中学校の自転車通学)

- Q. 東小学校では児童を車で送迎される方が多く、送迎時には非常に渋滞しています。また、中学校の通学について、夏場は登校時でも暑く、子ども達の熱中症が心配です。通学距離のある生徒は、自転車通学できるようにしてほしいです。
- A. 東小学校における送迎車の渋滞については把握していますが、抜本的な改善は難しい状況です。中学生の自転車通学については、地球環境も変化してきていますので、教育委員会と相談し、良い方向にもっていけるよう検討します。

(温水プールの設置)

- Q. 長久手市内に温水プールを設置してほしいです。
- A. 本市では、前市長の時代に、庁舎の建替と庁舎を建て替えた後に温水プール併設の総合体育館を建設する計画が策定されました。まず、庁舎の建替を進めていきたいのですが、財政的に厳しく、足踏みしている状態です。新体育館・プール建設については、庁舎の建替の後と考えています。一方、学校の屋外プールが暑すぎて授業ができない問題や修繕費が高額で修繕できないという課題が近隣市でもあります。近隣と協力して、学校授業のために広域で温水プールを建設する等の考えも必要になってきていると思います。

(「シネマ倶楽部」事業の継続)

- Q. 文化の家の市民活動団体「シネマ倶楽部」は、ボランティアで毎月、無料の上映会を開催しています。多くの皆さんからも好評を得ています。今後も、「シネマ倶楽部」の活動を存続できるようご協力をお願いします。
- A. 「シネマ倶楽部」は、人気で、市民の楽しみであり、運営側の生きがいにもなっている取組であるので、続けていきたいと思っています。今後も文化の家を最大限活用し、楽しい取組をしていきます。

いと思います。

(ワクチン接種補助)

- Q. 国の施策のワクチン接種に関してですが、厚生労働省では、ワクチン接種を推進したり、推進しなかったりという状況がありました。長久手市では、ワクチン接種補助はされているのでしょうか。
- A. 子どものインフルエンザ予防接種など、自己負担のものもありますが、厚生労働省が定めている定期接種のものは、全額または一部を市が補助しています。本市は、国から普通交付税を受けない不交付団体のため、交付税措置される事業については、全額市の負担になります。

(市民の声を反映・平成こども塾の体験料・立地適正化)

- Q. フリースクールの取組において、市が市民の気持ちをくみ取り、配慮した表現を使用してくださったことがあり、感激しました。財政が厳しい中、平成こども塾では手頃な価格で良い体験をさせてもらっています。もう少しお金を払っても良いと思っている人たち用に、寄付箱を設置してはどうかと思います。空き家が多くある市もあります。将来に向けて、人が暮らす場所と余白をどうしていくかを考えることが、長久手の将来につながるのではないかと思います。
- A. フリースクールの取組は、教育委員会が言葉の表現に配慮した取組です。いただきましたご意見は教育長にもお伝えします。財政が厳しいという話をするのは心苦しいですが、今までの事業を維持しながら新しい事業を始めることは難しい状況にあります。適宜、事業の入替えを行いながら、財政運営を行っていきます。体験料については、料金改定ができていないものもあるので、平成こども塾についても確認させていただきます。空き家問題に関しては、いずれ、長久手市も少子高齢化となり、上下水道、電気など、インフラの整備を市内全体的に行うことは難しくなっていきます。国の方針ではありますが、市では立地適正化計画を策定し、住宅、病院、銀行、商業施設等を集中させて、人口を誘導させていくこととし、リニモ沿線を誘導地域として計画をしています。

(農業支援)

- Q. 農業に関心がある方もいると思いますが、農業生産者側としては、財政面も厳しく、新規就農しようと思っても、ハウスや機械購入には高いハードルがあると思います。市の農業支援について、教えてください。
- A. 長久手市には、農を通じて交流し、憩い、楽しめる施設「あぐりん村」を設置するなど農業振興に力を入れています。しかし、1次産業従事者が少なく、従事者は年々減少しており、現実的には難しい状況にあります。市では、農あるくらしを目指し、長久手農楽校などの取組も行い、引き続き、担い手不足の解消等、支援を検討していきたいと思っています。

(農業支援)

- Q. 長久手市は、都市と農村の共存を進めてこられました。私は、長久手農楽校において、農業に

関する相談場所づくりを目指し活動しています。農業活動できる民間団体を立ち上げる取組も進めていますので、市としても支援していただきたいと思います。

A.担い手不足の解消等、支援、農業振興を進めていきたいと思います。

(横のつながりを強化した災害対策)

Q.災害訓練をしていると思いますが、安心安全課、社会福祉協議会、消防士、消防団等、横のつながりを強固にしてほしいと思います。

A.災害時のシミュレーションを行い、自衛隊、警察、消防士の皆さんと訓練を行っていますが、今後、社会福祉協議会、消防団の参加も検討したいと思います。

(魅力ある高齢者施策)

Q.高齢者施策では、健康を維持して長生きできるようにすることは大切ですが、高齢者が楽しめる内容であることが大切だと思います。楽しく魅力あるサービスの検討をお願いします。

A.高齢者施策において、楽しめる内容でない続けることは難しいというご意見に同感です。サロン活動に参加するなど、外出し、体験し、考える場は大切だと感じます。外出する場所、外出する移動手段の充実にも取り組んでいきます。

(合唱練習の場所)

Q.合唱の活動を実施していますが、文化の家、福祉の家の他に、小規模で気軽に利用できる場所があるといいと思います。

A.合唱ができる場所として、文化の家、福祉の家の他では、公民館、交流プラザ、リニモテラス等の場所があります。

(人口減少時代に向けた近隣市との連携)

Q.人口減少時代に、近隣市との連携はどのように考えますか。例えば、小牧、長久手、日進の共同で映画を制作するのはどうでしょうか。

A.小牧市、日進市などとの連携については、古戦場のあるまちとして、来年度の古戦場記念館オープンに向け、小牧市民、日進市民に来ていただけるよう連携していきます。映画制作はアイデアとしていただきたいと思います。

(タウンミーティング)

Q.タウンミーティングはいつから実施していますか。タウンミーティングの趣旨はどのようですか。

A.昨年度から実施しています。タウンミーティングは、市政について幅広い市民の意見を聴き、また、市政に対する市民の理解を深めることを目的として取り組んでいます。

(防災意識)

Q.防災に関してですが、長久手市は、単独消防から尾三消防という広域消防になりました。その弊害はないでしょうか。

A.長久手市単独消防の良さも理解していますが、消防車両や人員の増加による災害への対応力強化や財政効率等から消防の広域化に至りました。市職員も、日頃から防災意識を高め、取り組んでいきます。